

余丁校通信



10月の生活目標

気持ちの良いあいさつをしよう。

「笑い」とは・・・

副校長 木田 那奈

9月 18・19・20 日に行われた学校公開では、延べ 730 人とたくさんの方々にご来校いただきました。ありがとうございました。お子さんの学校での姿をご覧いただき、ご家庭での話題となったことと思います。20 日の道徳授業地区公開講座では、お笑いコンビ「オシエルズ」さんをお迎えして、「笑い」をテーマに 6 年生と保護者対象にご講演いただきました。

「オシエルズ」さんは、日本一学校を回るお笑いコンビで、2024 年は、166 校の小・中学校を訪問し、2025 年は、上半期で 120 校を超えているそうで、その日も、足立区の学校での講演を終えた後お越しいただきました。お二人は、自身のいじめの体験をきっかけにお笑い芸人になりました。

「笑われる人から笑わせる人になりたい」という思いがコントや漫才をやる力になったそうです。「笑いは人を傷つける笑いとうそでない笑いがある」こと、「笑いは人のためにするもので自分のためにするものは「ふざけ」である」こと、「いじめといじりのちがいは、いじられた人が OK か NG か、周りの人が OK か NG かのちがい」などを軽快なトークで学びました。最後は、児童から書いてもらったキーワードを交えながら即興でコントを行い、「笑いは、みんなで作るから面白い」ということも学びました。2020 年にコロナウイルスで亡くなった志村けんさんが生前師匠であるいかりや長介さんのことを語ったインタビューで言っていたことを思い出しました。それは、『「他人をバカにして笑いを取ることはするな」とよく言われましたね。最近の若手芸人はそう言う奴が多いんですよ』というようなことでした。「笑い」は、「誰もが楽しい笑い」でなければ「笑い」ではありません。考えさせられました。

さて、10 月は、今年度の折り返しです。14 日には前期の通知表をお渡しします。結果をもとに次にどうするかを考えることが成長です。「実りの秋」。学習や体験活動を通して、子どもたちが一層成長するよう、学校と家庭、地域でしっかりと連携していきたいと思います。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

前期通知表「あゆみ」について

教務主任

配布日：10月14日（火）

10月14日（火）は前期通知表「あゆみ」の配布日となります。お子さんの努力の成果を大いに誉めてあげてください。「よくできるがいくつ」ではなく、一人一人が自分を見つめ、自信につなげ、次の新たな挑戦につながるきっかけとなってほしいと考えています。

確認後、前期通知表はご家庭で保管してください。提出する必要はありません。

余丁町小学校124周年！

特別活動部

10月26日は、余丁町小学校の開校記念日です。今年で開校 124周年を迎えます。10月16日（木）の音楽朝会、10月23日（木）の代表委員会による集会活動など、開校記念を祝う催しを計画しています。自分たちが通う学校のことをより深く知り、更に愛着をもつことができるような機会となるとよいと考えています。

伊那市の食材提供について

栄養士

平素より学校給食にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今年度の給食も残り半分となりました。安心して安全なおいしい給食を提供できるよう、給食室一同、努めて参ります。

新宿区の小中学校では、友好提携都市である長野県伊那市の農作物を献立に応じて活用しています。今の季節は、梨（幸水や二十世紀）やりんご（シナノスイート等）を取り入れています。

また、今年度は 11 月にお米の無償提供をさせていただきます。“伊那華の米”か、“今ずり米”という、上伊那産のコシヒカリの予定です。おいしい新米をいただきながら、子どもたちが伊那市を身近に感じる機会になればいいと考えています。